



宇部市立上宇部小学校
学校だより 5月号
令和3年4月30日発行

五月晴れの鯉のぼりのように

校長 三輪 孝行

慌ただしい年度末から年度初めでしたが、いつの間にか、GW直前となりました。卯月(4月)は、昔から、“苗植月(なえうえづき)”とも言うそうです。

そういえば、4月には苗を植えたり種をまいたりします。学校においても、新しい学年・学級で新鮮な気分で学級づくりに取り組む月でもあり、学校にとっても4月は“苗植月”と言えるでしょう。

毎朝、交通指導のために旗を片手に道路に立っていると、子どもたちの明るく元気なあいさつの声が聞こえてきます。各学級とも、うまく苗が植えられたかな、種がまかれたかなと感じています。

入学したばかりの1年生も、ずいぶん学校に慣れました。

6年生は学校の機関車としての気持ちも出始めています。5年生には、来年度には最高学年になるという自覚を今のうちから持ってもらうために、時々、「校長先生のお話作文」を使って、私の話を聞いて思ったことや分かったこと等を作文に書いてもらうようにしています。

子どもたちの落ち着いた学校生活ぶりを嬉しく思っています。

さて、いよいよ5月、“五月晴れ”という言葉にもあるように、1年の内でも気候的に過ごしやすい時期を迎えました。五月の空をゆうゆうと泳ぐ鯉のぼりを見ますと、竜門の滝を登り切った鯉が竜に姿を変えするという中国に古くから伝わる登竜門の伝説にならって、子どもの健やかな成長を願って始まったという鯉のぼりの起源もうなずけます。



この好季節、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のために、これまでのように出かけることはできないかもしれませんが、せつかくの機会ですから、親子のふれあいを深めて充実した連休をお過ごしください。

家庭や地域、学校での活動を通して、子どもたちが大きな竜に変身できますようこれからも御協力をよろしくお願いいたします。